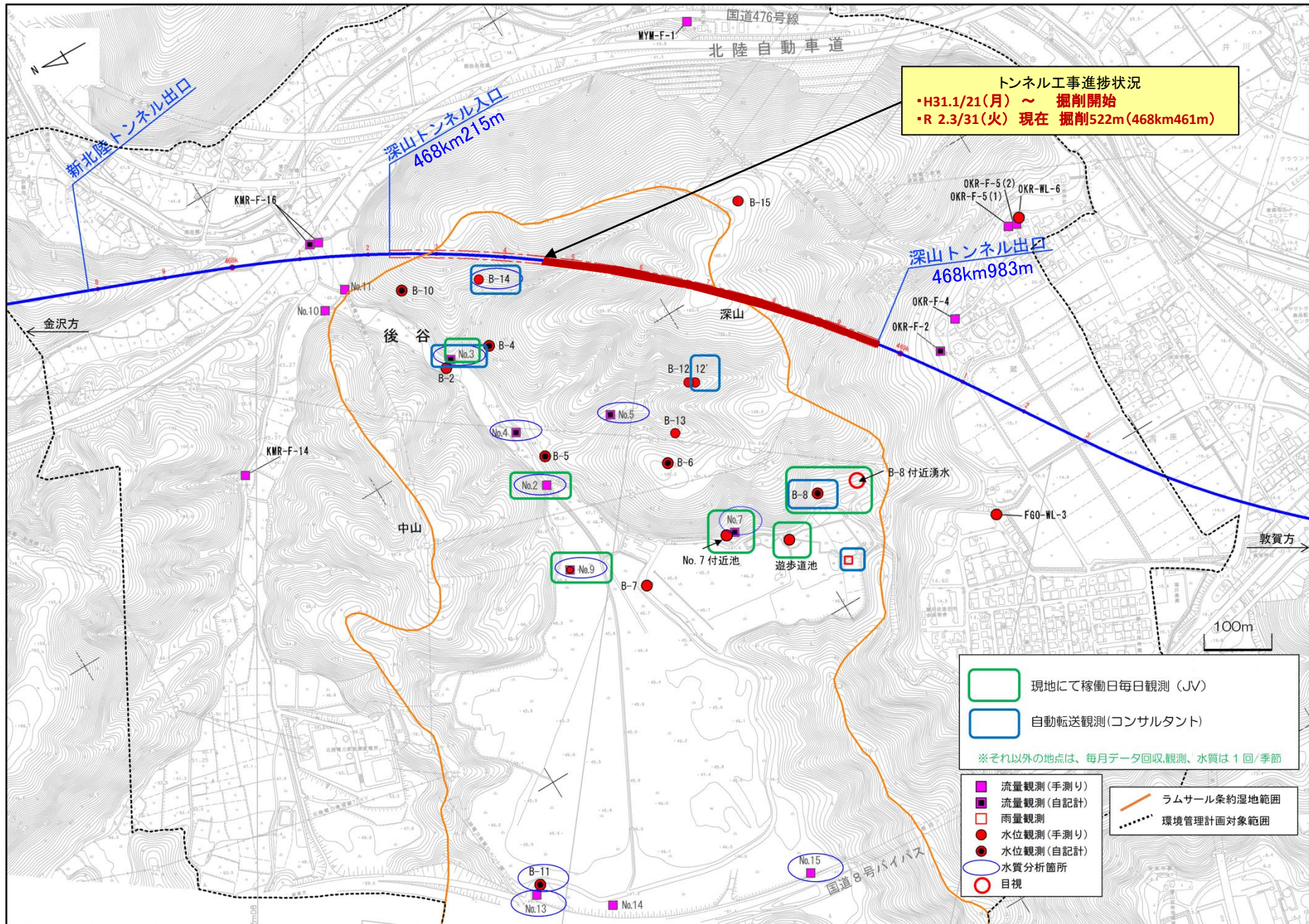


深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間：令和2年3月1日（日）～令和2年3月31日（火）

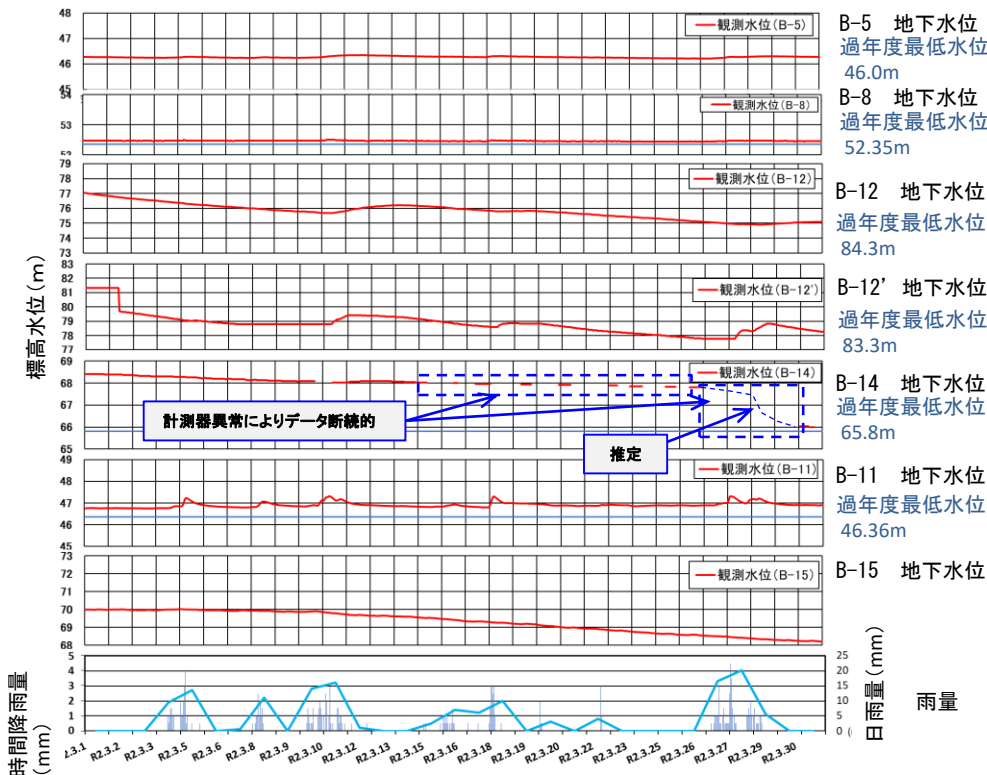
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



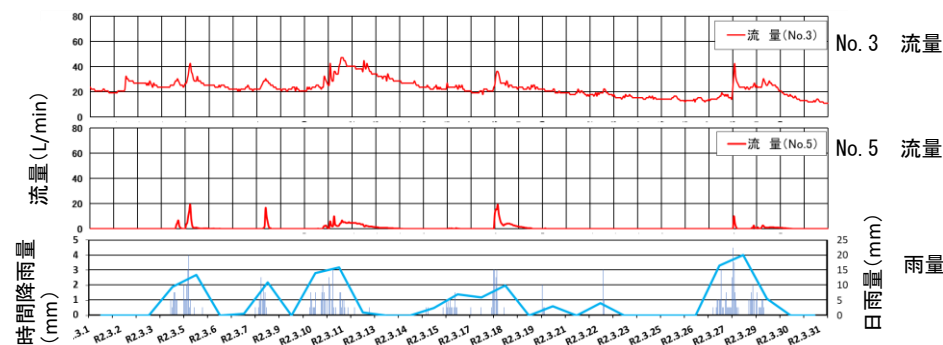
水文環境モニタリング観測地点図

※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図(自記記録)



流量観測結果図(自記記録)



全体総括

□目立った変動なし ■やや変動あり

□変動あり(注意体制への移行を検討)

期間中の地下水位低下量

■1m未満ないし増加: B-12,12',14,15以外すべて

■2m未満: B-15 ■5m未満: B-12,12',14 □5m以上

期間中の流量低下量

■50ℓ/分未満ないし増加: すべて □50ℓ/分以上

期間中のpH変動量

■0.5未満: B-8,B-12 □0.5以上 □1以上

日降水量

□15mm未満 ■15mm以上: 3日 □50mm以上

月降水量

□80mm未満 □80mm以上 ■130mm以上 □200mm以上

概要

■水位変動について

①やや変動あり。

②B-8(自動転送): 大きな水位低下はみられないが、過年度最低水位とほぼ同じ水位。

③B-12(自記水位計): 今月は水位変動が2m程度で、未だ先月に引き続き過年度最低値を下回っている(先月△8.2m⇒今月△9.2m)。
⇒今後も注視していく。なお、pHの値の変化はみられない。

④B-12'(自動転送): 先月に引き続き水位低下、過年度最低水位を下回っている(先月△4.3m⇒今月△5.0m)。B-12に近接しているため同様な状況が推測される。今後も注視していく。

⑤B-15(自記水位計): 本線を挟んで反対側に位置するB-12に比べ降雨の反応は小さい。本期間では概ね水位は安定しており、後半で若干下降傾向である。比較的路線に近い観測地点でもあるので、今後も注視していく。

⑥B-14(自動転送): 今月上旬は若干水位低下を示し、3月26日までは水位は安定しているが、31日に約2m水位が低下。28,29と実施した先進ボーリングの影響と考えられる。これからトンネル切羽が近づく地点なので注視していく。

⑦No.5(自記): 大雨には反応して流量が確認されたが、流量0となる状況が確認された。本期間は3/4,5,8,10,11,16~18,27~29以外は雨量が少なく、無降雨日も多かったことが要因のひとつとして考えられる。(※少雨の場合、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている場合もあると考えられる。)

■降水量について

・3月の日降水量の最大を記録した日は、3/28の20mmであった。

⇒2月の日最大降水量は40.5mmであった。

・3月の月降水量は140mmである。

⇒2月の月降水量は124mmであった。